

別記様式(第4条関係)

会議録

| | |
|---|-------------------------------|
| 会議の名称 | 令和3年度 第1回 加東市社会教育委員の会議 |
| 開催日時 | 令和3年8月20日(金) 10時00分から11時20分まで |
| 開催場所 | 加東市社公民館 2階 視聴覚教室 |
| <p>議長の氏名 (神戸 滋和)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>○出席 ・神戸 滋和委員長 ・荒木 勉委員 ・大橋 洋子委員 ・藤尾 桂子委員 ・竹内 守男委員 ・近澤 玉幸委員 ・柿本 美穂委員 ・堂下 哲子委員 ・村上 昌弘委員</p> <p>○欠席 ・安原 一樹委員 ・土肥 昭彦委員 ・長谷川 貴典委員</p> | |
| <p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>・教育委員会 教育長 藤本謙造 教育振興部長 田中 孝明 ・中央図書館 館長 田中 美紀子 ・人権協働課 課長 西山 太 ・生涯学習課 課長 長田 徹 ・ 同 市民スポーツ係 副課長 藤原 武 ・ 同 滝野公民館 館長 松本 美香 ・ 同 東条公民館 館長 竹内 喜博</p> | |
| <p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・生涯学習課 副課長 三和田 剛浩 ・ 同 主査 福島 奨平</p> | |

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

開 会

- 1 あいさつ 藤本教育長
- 2 自己紹介
- 3 委員長、副委員長の選任 委員長 神戸 滋和 副委員長 安原 一樹
- 4 協議事項

(1) 加東市社会教育振興基本計画の策定について

資料に基づき説明。

【質疑応答】

(議長) 参考資料の平成24年3月策定の「加東市社会教育振興基本計画」を、「第3期加東市教育振興基本計画」に基づく社会教育事業実践への手引きという形にしたい、「手引き」というところに重点が置かれているという理解でよろしいでしょうか。

(事務局) 以前は、「社会教育振興基本計画」のように計画という形で作っていますが、これでは広く社会教育に携わる方にとって意味のあるものになっていたか、これを使って社会教育の実践をされていたかという反省を踏まえ、今回はより社会教育に直に関わっておられる指導者、講師の先生、それから社会教育の事業に参加している皆様にとって、より身近な資料、実践に使えるものとして、「手引き」という形で作成することを提案します。

(事務局) 補足します。皆さんのお手元に「教育振興基本計画」をお示ししています。これは法律に基づく努力義務ということで策定しております。その中では、社会教育振興の計画も全てこの教育振興基本計画の中に盛り込まれるという解釈ができます。そこで、堅苦しい社会教育振興計画といったものではなく、教育振興基本計画の中からより特化して社会教育の事業の関係を取りまとめて、今期は一度作ってはどうかということで事務局の中で協議しました。前回の計画という形にするべきではといったご意見もあるかと思えますし、今回提案している実践への手引きというようなことで、幅広く活動していただいている方、または活動されるご自身で、それを見ていただく中でより社会教育、生涯学習とは何かを広く周知していけたらという思いもあり、今回このような提案をさせていただきました。

(議長) ありがとうございます。委員の皆さんの中で、どうぞご質問等をお願いいたします。

(委員) 去年からこの会に参加していて、社会教育の振興基本計画があるのだと初めて知り、教育振興基本計画というのを加東市で

は作っていますし、文科省のも作っています。これをもとにずっと学校教育を進めているわけで、2つあるのは、どういうことなのかと去年も感じました。これは1回目の平成24年に作成されたもので去年までこれを使っていたということですね。教育振興基本計画というのは5年に1度見直しをされているのに、こちらは見直しされていないとなると、2つ別のあるような感じがしていたのです。今の事務局の提案を受けて、大元は教育振興基本計画だと思うのですが、これを元にさらに手引きというわかりやすいものという提案ですので、こちらの方がすっきりしているし、まして社会教育というのは地域の方の自主的な活動でもありますので、どうしても基本計画となると行政の言葉がわかりづらいんですね。ですから本当に一般市民の方でもわかりやすいものになれば、さらに加東市の社会教育が進むのではと思っていますので事務局の提案で良いかと思えます。

(議長) ありがとうございます。どうぞほかに。

(委員) 私も今言われたように思っておりました。この冊子(教育振興基本計画)がありますが、結局これとどういう関係なのかなと。前回の平成24年3月の時に参加させていただいたのですけれども、先程言われた、ねらいとか計画実施を統一しようかという基本計画には載っていないとは言わないが物足りないなと思っておりました。今回こういう方向性でされるほうが私も良いと思います。今までのパターンを変える時だと思いますし、例えば事業のねらいがあって実践があり、そして達成して評価、そしてまた評価して次どうするかというのをやる方が社会教育の発展、社会教育を進めていく上において必要なことだと思いますので私もこれについて今回の事務局の提案に賛成です。

(議長) 先程委員が言われたように用語が非常に難しい。基本計画の方を見たときに本の冊子背景と趣旨1行目2行目を見ましても、横の連携や縦の接続、そこからつまずいてしまう。平たく言えば繋がりですよね。横の連携というのは繋がり、ましてずっと縦の接続というのは今までやってこられたことの良いところはとって、次にそれを繋いでいく、それで繋がって伝えて終わってしまうのではなくて続けていくというのをこの基本計画の方でしたいと言っておられるので、先程からおっしゃっているように我々がする時にわかりやすい文章で手引きを作り上げたいなという思いをもちました。ほかにも意見がございましたら。

(委員) 私個人的に年度末で加東市の教育事業についての点検と評価の場に参加させてもらって10年を経過しても、社会教育のと

ころの資料にもありますけど、たくさん事業をされているんですけど目標がないのです。目標がありませんので評価もできていないと思うのです。それを基本の中に入れられたんですけど、連携と評価でどうしたらいいのかというのがずっと課題だと思うんです。今回そのところに事務局の方から自ら手を入れてやり方を変えよう、これは年度途中からしても遅かったかもしれないんですけど、今の時期にスタートをしようとは私は大拍手で応援をしたいなお手伝いをしたいという思いです。

(委員)

この提案につきましては大賛成です。やはり主催し、主に引っ張っていくリーダーという方がどんな思いでやっていくのかということが今まではなかなか見えなかった。ただやってくれ、お願いします、何やりましょうか、去年どうだったかな、といった形の行事を、悪い言葉でいうと消化、マンネリ化しているような傾向があったように思います。その事業がどういうねらいをもって、どのように進めて、何を求めているのかこれがかはっきりしていなかったということがひとつの大きな原因ではないかと感じています。そして、この中で評価をするということが出てきます。これを目標としてこうだったと、これをどう評価していくのか、いつ誰が誰を対象にしていくのかということまで含めてやると、この冊子というのを作っていく必要があると思います。大人も子どもも今までアンケートに答えるという程度の反応が叶えばいいかなというようなことで次年に活かしているということが多かったかもわかりませんが、その辺の評価の方法をこういう機会にでも提案していただいて検討する必要があるのではないかと感じています。この手引きに関しましてその方向性は賛成です。

(議長)

ありがとうございます。今委員の方からありましたように、この資料1のところの第3章、評価の方向のところを特にしっかりとおさえなさいといったご意見だったと思いますけども、ほかにこういう点、こうしたらどうかという意見あれば、感想でもいただけたらと思いますが、何かありましたら。

(事務局)

事務局から申し訳ございません。いろいろご意見いただきましてありがとうございます。この資料を皆さんにお配りさせていただいて、まだまだ内容が煮詰まっていない中で、プラスαの意見をくださいというのは、厚かましいなと思ったりもしております。従いまして方向性は皆さまの方から、これでいいんじゃないかなという意見をいただいておりますので、まずはこの形で肉付けをしていくというような作業に取り掛かせて

いただきます。そうなってくると、もう少し全体をお見せすることができ、ここではもっとこういう内容を入れたらいいんじゃないかな、ここをこうしたらいいんじゃないかなというようなことが発生してくるのではないかなと思っております。まずは本日はこのようなまとめ方でいきたいということをご承認いただけたら次回は、ここはもっとこういうことで協議したらいいんじゃないかと議論の具材を出すことができるかなと思っております。まずはその辺を最終ご協議いただけたらと思います。

(議長) ありがとうございます。このような方向で広くご承認いただいて今お話しがあったように具体的な取り組みについてどうのようにするか、できれば次の会を早くもっていただいて進めていけるようにと思っておりますので、この方向でということにご賛同いただけるかたは拍手をいただきたいと思っております。

(拍手)

ありがとうございます。拍手をいただきましたのでこの方向でということをやっていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(2) その他

兵庫県社会教育委員協議会総会・研修会について説明、提案

(議長) その他のところ、11月29日(月)分科会提案加東市となっているのですが、7月の会議で加東市が北播磨の委員長にあたっています。11月の兵庫県の大会で取り組みの報告をしなければなりません。そこで、こういうことを発表したらどうかというので、例えば、100歳体操やサンサンチャレンジの発表をされたことがあるので、加東市では、このようにしていますといった発表をしていただければと思うのですがどうでしょう。

何か皆さんの中でこういうことならできるといふようなこと、あるいはこういうふうにしたらどうかと、加東市の取組として他へ伝え、情報を発信したらいいのではということがございましたらここで知恵をお借りしたい。

(委員) 私として、今議長が言われたことに関して議長が代表で発表していただくのが一番いいと思うので、皆さん色々な意見をもっておられるのでそれを議長のところでまとめて発表するという方法があると思います。例えば、一人ずつ色々な文化や学校、今回話し合ったことが合致してくると思うのでそういうところをまとめて発表していただくのが良いと思います。

(委員) ただそれぞれやっていることを集めて発表するとなったら余計にできません。例えば、生涯学習課の事業一覧の中のこれで発表ということも可能なのかどうか。全体の活動の中の一部分、例えば、成人式の事業とか文化祭事業とかの発表が可能なのかどうか、加東市のここに載っているのは全て加東市の事業だと捉えて発表することになると思うのですが、どんな形が一番いいのかということになります。

(議長) ありがとうございます。何かありませんか。ご助言。

(委員) 助言にはなりません、今おっしゃったお話で、今日事務局が説明された内容そのとおりにはないですけど、この計画をこんな形で作成したいんですって提案があったんですね。その思いに比較的近いのが放課後プランだと思います。

(事務局) 子ども教室のことですかね。

(委員) 子ども教室というのは何教室ほどあるんですかね。

(事務局) 令和3年度は8校区、8教室の11会場でやっております。

(委員) その委員をやって15年ほどになります。こんな形で加東市は行っています。今回策定する計画の趣旨からすれば、この子ども教室そのものがこの計画に合致すると思います。そんな発表の仕方もひとつかなと。確かにおっしゃるとおり個人の方もたくさんやっていただいているんです。その人でいくか、加東市がやっている事業としてお話をするかとなると後者のほうが、どちらがいい悪いではなく一般に馴染むかなと。そうすると子ども教室の事例を出さない手はない。研修会とは、そういう場ではないかなと思うんです。現実の姿を発表するのもひとつの発表ですけども、毎年毎年、場所を変えて、担当者を変えてを繰り返しているということは、そこに思考錯誤をお互いがしていくと年々新しい何かに取り組んでいこうではないかと

励まし合いをやっている場じゃないかなと考えたとしたら、ご意見あればといったスタンスでいったほうが趣旨には馴染むんじゃないかなという気はするんです。

(事務局)

事務局から少し補足で説明させていただきます。今回の兵庫県の研究大会につきましては加東市の分科会での発表ということになっているのですが、発表のテーマについては加東市で決めてくださいということでテーマに縛りのほうはありません。一応加東市の社会教育の振興に向けてこういうことに取り組んでいますというような、テーマの枠はかなり幅広いものとなっていますので、先程ありました個人の方の社会教育委員としてこういう取り組みをしているという発表の形式でもよいですし、加東市全体で地域の社会教育を盛り上げるためにこういうことに取り組んでいます。その一例として子ども教室の実践を発表しますという形で発表してもよいとなっておりますので、なかなか今日の会では誰が発表し、このテーマでというのは難しいかもしれませんが、流れとしましては9月の下旬には各市町のテーマと研究課題を報告するとなっておりますので、それまでに事務局ももう一度方向性を確認しまして、社会教育委員のどなたかにお願いできないかということでお話をさせていただこうと考えております。

(議長)

色んなご意見をいただいていますので、それでけっこうでございます。ぜひ子ども教室、実践されている方いらっしゃいますし、人選も含めてできるだけ早く次の会、県へ報告するまでに今日の話も含めて会をもつていただけたらうれしいと思います。ありがとうございます。

5 連絡依頼事項
資料で説明。

令和3年10月15日